

港湾・都市基盤整備推進特別委員会

日時：令和 4 年 12 月 16 日（金）
午前 10 時
場所：第 3 委員会室

○ 議 題

- 1 八戸市津波避難計画の改定について
- 2 三沢一羽田線 4 便化について

八戸市津波避難計画の改定について

1. 計画改定の趣旨・経緯

本計画は、津波から市民の生命・身体を確保することを目的とし、住民が迅速かつ円滑に避難するための避難対象地域や避難場所、避難路などを定めたものであり、令和3年5月に青森県が最大クラスの津波浸水想定の見直しを行ったことから、本計画を改定するものである。

なお、今回、津波浸水想定区域が大幅に拡大したことにより、津波避難ビルやタワー等を増やす必要性はあるものの、これら避難施設の整備を待っているだけでは計画の改定に時間を要することから、いつ起こるか分からない津波の危険性や避難場所等を早期に市民に示すため、現時点での津波避難ビルやタワーで計画を改定し、避難施設の不足等については今後の課題として整理した。

2. 改定までの経過

計画改定に当たっては、住民や事業者への説明会のほか、大学教授で構成する有識者意見聴取会での意見聴取、パブリックコメントを経て改定した。

(1) 改定経過

月	内容
5月～6月	住民説明会（16地区）、事業者説明会（6団体）
8/19	有識者意見聴取会（1回目）
9/1～9/14	パブリックコメント
9/28	有識者意見聴取会（2回目）
11月	改定

(2) 住民説明会における主な意見

- ・津波到達時間までに浸水想定区域外への徒歩避難が困難であるため、津波避難ビルや津波避難タワーを増やして欲しい。
- ・車による避難や橋を渡っての避難を認めて欲しい。
- ・高齢者等の要配慮者の避難について対策を講じて欲しい。

(3) 有識者意見聴取会での主な意見

- ・避難困難地域の方々に避難困難地域を示すときはその対策をセットで説明した方が良い。
- ・津波の際は何をどうすれば良いのかを計画とは別に作成した方が良い。
- ・防災教育を充実させるためにも学校の先生へ情報を提供していった方が良い。

＜八戸市津波避難計画改定に係る有識者意見聴取会＞

【趣旨】計画改定に当たり学識経験者等から幅広く意見を聴取するため設置

【委員】①八戸工業大学 教授 宮腰 直幸

②八戸学院大学 講師 井上 丹

③青森中央学院大学 准教授 中村 智行

(4) パブリックコメントの実施結果

- ① 意見総数 意見提出者：2名、意見件数：2件
 ② 意見の内容と回答

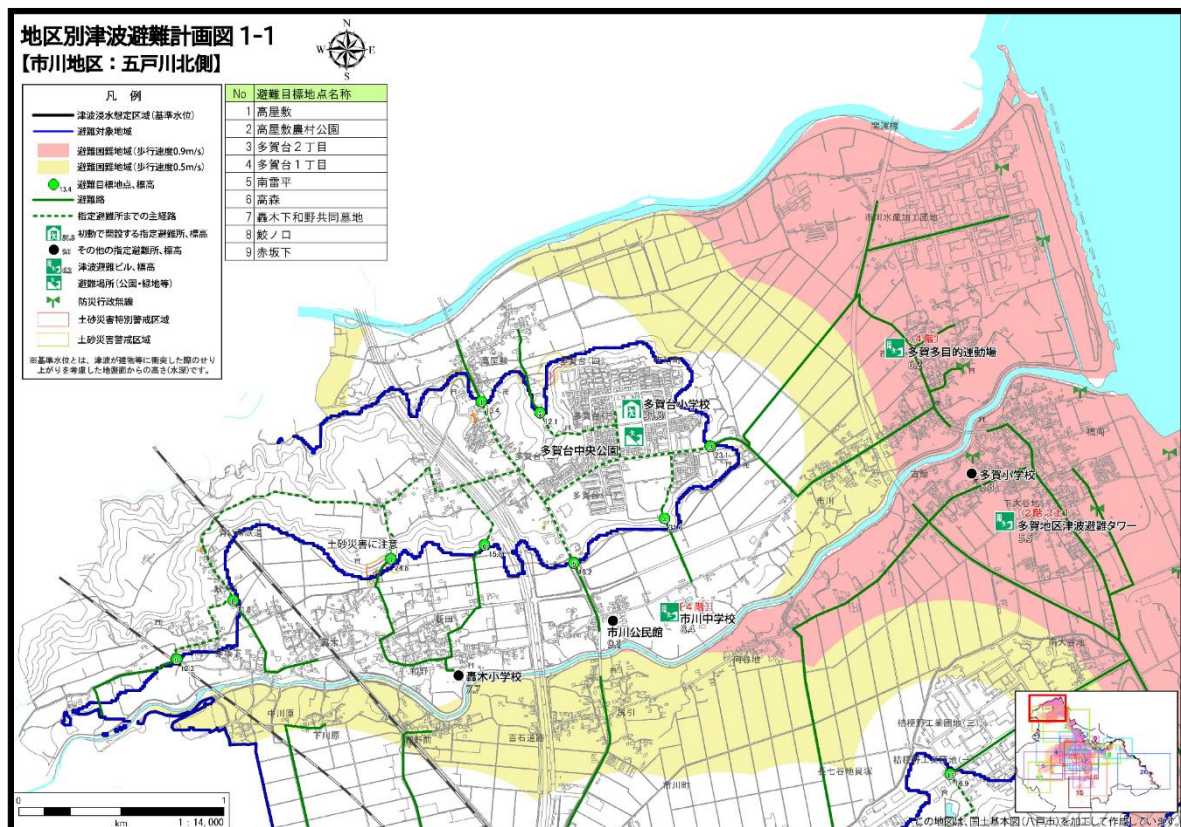
意見	回答
第一波、最大波、津波影響開始時間について、3種類の時間があって分かりづらいので1つだけにした方がよい。	重要な情報であるためそのままの記載とするが、なぜ3種類の時間を記載しているのかの説明を追記する。
三条小学校までは遠いため、西園小学校を何かしらの避難場所として設定しておく必要があるのではないか。	西園小学校は津波避難ビルの指定を進めていく、また、民間施設についても調査し、適当な施設がない場合は必要に応じて避難タワー等の整備を検討する。

3. 津波避難計画図の配布

計画中に示した津波避難計画図(避難場所や避難路等を示した図面を地域別に作成)は、今年度中に津波浸水想定区域内の各世帯に配布する予定としている。

配布先及び配布数(見込み)：津波浸水想定区域内にある全戸約53,000世帯

<参考：地区別避難計画図(市川地区：五戸川北川)>

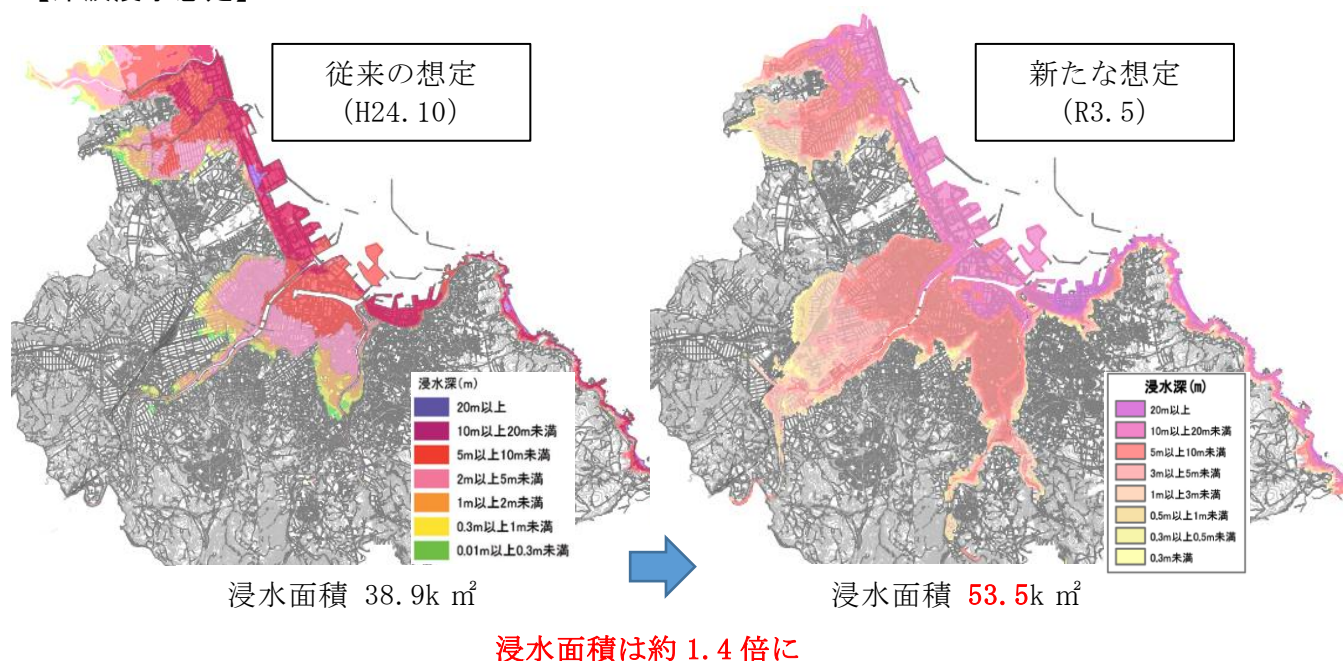


4. 改定のポイント

(1) 新たな津波浸水想定

令和3年5月に県が公表した新たな津波浸水想定では、これまでの想定に比べて浸水域が1.4倍に拡大したほか、津波の到達時間も早くなっている。

【津波浸水想定】



【津波到達予想時間】

代表地点	現行版					改定版				
	第一波		最大波(第二波以降)		津波影響 開始時間	第一波		最大波(第二波以降)		津波影響 開始時間
	津波の水位	到達時間	津波の水位	到達時間		津波の水位	到達時間	津波の水位	到達時間	
市川	16.0m	52 分	第一波が最大	同左	14 分	11.6m	38 分	16.0m	52 分	14 分
橋向	16.9m	51 分	第一波が最大	同左	15 分	11.9m	41 分	16.9m	51 分	15 分
北沼	15.0m	54 分	第一波が最大	同左	16 分	12.4m	39 分	15.7m	178 分	16 分
豊洲	12.6m	50 分	第一波が最大	同左	15 分	10.8m	41 分	16.5m	185 分	15 分
新湊	13.9m	52 分	第一波が最大	同左	15 分	11.5m	38 分	21.0m	183 分	15 分
鮫・白銀	9.6m	51 分	第一波が最大	同左	16 分	10.0m	40 分	19.2m	182 分	16 分
白浜	20.9m	46 分	第一波が最大	同左	15 分	11.3m	33 分	20.9m	46 分	15 分
深久保	16.4m	46 分	第一波が最大	同左	15 分	10.1m	33 分	16.4m	46 分	15 分
種差	16.8m	45 分	第一波が最大	同左	15 分	10.1m	32 分	16.8m	45 分	15 分
法師濱	18.7m	45 分	第一波が最大	同左	14 分	10.0m	33 分	18.7m	45 分	6 分
大久喜	18.1m	45 分	第一波が最大	同左	14 分	10.2m	32 分	18.1m	45 分	14 分
金浜	20.3m	44 分	第一波が最大	同左	13 分	10.7m	32 分	20.3m	44 分	13 分

⇒ 全ての代表地点において、第一波到達時間が早くなっている

(2) 避難対象地域

新たな津波浸水想定に伴い、避難対象地域を見直した。(赤字が新たな対象エリア)

町名・大字	小字
大字市川町	下揚、下大川端、上大川端、船場川原、下田堺の一部、下中平沖、上中平沖、北谷地、坂ノ下、高屋敷の一部、稲荷岱の一部、堂ノ下、市川後、姥懐、北雷平の一部、市川、中谷地、南雷平の一部、菖蒲谷地、高森の一部、菅谷地の一部、大沢下の一部、新田、稲荷下の一部、鮫ノ口の一部、轟木の一部、夏秋、赤畑、和野、轟木前、高丁場の一部、橋向、古館、赤川下、尻引、下川原、中川原、上川原の一部、上大谷地、下大谷地、壁取下、向谷地前、向谷地、赤川、南尻引、和野前、轟木前谷地、田ノ沢下の一部、浜、南大谷地、長七谷地の一部、吹上沖、堤下、クゴ谷地、新堀、藁田柳、鍋沢尻の一部、小鍋下の一部、上水目沢、水目沢の一部、尻引前山の一部、尻引堤下、 高田、尻引堤沢の一部、赤坂下の一部、和野前山の一部
桔梗野工業団地	一丁目の一部、二丁目の一部、三丁目の一部
八太郎	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目
日計	一丁目、二丁目の一部、三丁目の一部、四丁目、五丁目
高州	一丁目、二丁目
下長	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、七丁目、八丁目
小田	一丁目の一部、二丁目の一部
石堂	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目
長苗代	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目
大字長苗代	太古殿、島ノ後、観音堂、狐田、島ノ前、下中坪、コブノ木、二分谷地、制札前、内前田、内舟渡、元木、窪田、藁河原、下明戸、 二日市、鰻苗代、化石、下亀子谷地、下碓田、紺屋町、上亀子谷地、上中坪、上碓田の一部、前田、大谷地、谷地、中坪、天狗柳の一部、幕ノ内
卸センター	一丁目、二丁目
大字尻内町	尻内河原、沢ノ田、尻内、前河原、表河原の一部、下川原、中川原、中崎の一部、上川原の一部、大川原の一部、 六百刈、八百刈、メドツ河原の一部、下谷地、家口田、鴨ヶ池の一部、鴨田、館田の一部、根市内矢沢の一部、尻細、新井田新田の一部、新往名添、新川下の一部、人形場の一部、前谷地の一部、前明戸、善右エ門堰、鼠田の一部、中堰、中根市の一部、中道の一部、堤下の一部、田端前、島田、内矢沢の一部、馬場、平中、平中下、平中後、明戸の一部、矢沢の一部
一番町	一丁目の一部、二丁目、三丁目の一部
河原木	
大字河原木	海岸、青森谷地、北沼、浜名谷地、蓮沼、小田平の一部、竹ノ沢の一部、中崎の一部、八太郎山の一部、八太郎、濃谷地、南町、中島、高館前の一部、高館根前、前谷地、谷地田、日渡、玉谷地、神才、五反田、河原木後、千刈田、観音堂、千刈、館、赤沼、荒沼、石仏、宇兵衛河原、遠山新田、内河原、川目、 館合堤下の一部、小館の一部、小田の一部、大谷地の一部、日計の一部
豊洲	
沼館	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目
大字沼館	浜梨子河原
城下	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目
内丸	一丁目の一部、二丁目の一部、三丁目の一部
売市	三丁目の一部、四丁目の一部
大字売市	橋場、馬場河原の一部、小待の一部、右水門下の一部、鴨ヶ池、観音下、左水門下、 奥遊下の一部
根城	九丁目の一部
大字根城	西ノ沢の一部、河原、下町の一部、ヌタゴ、根城の一部、 東構の一部
大字田面木	後河原、船場道下の一部、中明戸、 王城林の一部、下田面木の一部、上田面木の一部、赤坂の一部、前田表の一部、堤下の一部、法霊林の一部
大字八幡	矢沢向、中砂子、八ツ役、古川、下川苗代、 下陳屋の一部、下樋田の一部、古川上、州寄や崎の一部、上鶴対の一部、上川苗代の一部、千刈田の一部
江陽	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目
小中野	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、七丁目、八丁目
柏崎	一丁目、 二丁目 、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目
青葉	一丁目、二丁目、三丁目
諏訪	一丁目、二丁目、三丁目
類家	一丁目の一部、二丁目の一部 、三丁目、四丁目、五丁目
大字類家	堤端の一部、堤田の一部
南類家	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目

町名・大字	小字
田向	一丁目の一部、二丁目、三丁目、四丁目の一部、五丁目
大字田向	館越下の一部、向河原の一部、向平の一部、十二役の一部、檀ノ平の一部
新井田西	一丁目、二丁目、三丁目、四丁目
大字新井田	川原の一部、下鷹待場の一部、塩入下の一部、鷹清水の一部、寺沢下の一部、重地下、八幡川原、塩入の一部、横町の一部、外館の一部、館下の一部、館平の一部、岩淵の一部、古館、古戸沢の一部、後庵、寺ノ上の一部、寺沢の一部、重地の一部、西平の一部、赤御堂前の一部、中町の一部、畑中の一部、法光野、門前の一部
大字湊町	下条の一部、館鼻の一部、大沢の一部、本町の一部、上ノ山の一部、汐越の一部、柳町、久保の一部、上中道の一部、赤坂の一部、下河原の一部、ホロキ長根の一部、中道の一部、縄張の一部
新湊	一丁目、二丁目、三丁目
大字白銀町	三島下、大沢片平、大沢頭の一部、三島上の一部、洲賀端、北側本町、下夕通、昭和町、人形沢の一部、右岩淵通の一部、砂森の一部、寺ノ後の一部、小沼の一部、新町通の一部、大久保道、沢向の一部、田端の一部、南ヶ丘の一部、浜崖の一部、堀ノ外の一部、堀ノ内の一部、木戸場の一部
白銀	一丁目、二丁目、三丁目の一部、四丁目の一部、五丁目の一部
築港街	一丁目、二丁目
築港街 第一ふ頭	
大字鮫町	日出町、二子石、林通、二見町の一部、忍町、持越沢、住吉町、ハンノ木沢の一部、冷水、上手代森、上鮫、下手代森の一部、鮫、下松苗場の一部、下盲久保の一部、小舟渡平の一部、先祖ヶ久保の一部、古馬屋尻の一部、日蔭沢の一部、姥懐の一部、妻ノ神の一部、石株の一部、堀込の一部、横道通の一部、館越の一部、舟渡ノ上の一部、赤コウの一部、中道の一部、棚久保の一部、葛ノ芽の一部、館ノ下の一部、外ノ沢の一部、大槻窪の一部、種差、熊野林の一部、堀込下の一部、遙望石の一部、高岩の一部、鬼場平の一部、狐平の一部、海端の一部、冷水平の一部、子猪越の一部、安川目の一部、大作平の一部、石仏沢の一部、下柏木森の一部、下須田の一部、居合の一部、小長根の一部、上松苗場の一部、福沢久保の一部、継久保の一部
大字金浜	下山の一部、郷路道、細久保の一部、下作目の一部、舟戸ノ上の一部、一ノ久保の一部、塩竈の一部
大字櫛引	一日市の一部、烏沢の一部、下河原の一部、下矢倉の一部、館神の一部、櫛引の一部、小沢田の一部、上川原の一部、川中島の一部、前田の一部、沢田の一部、中瀬川原の一部、明戸河原の一部、矢倉沢の一部
大字上野	下明戸の一部、上明戸の一部、上野の一部
岩泉町	一部
窪町	一部
朔日町	一部
十一日町	一部
十八日町	一部
常海町	
堤町	一部
堀端町	一部
長根	二丁目の一部、三丁目の一部、四丁目の一部
吹上	一丁目の一部
大字中居林	館越山の一部
大字石手洗	下河原の一部、京塚の一部、向河原の一部、斎郷の一部、上河原の一部、上平の一部、石手洗の一部、前河原の一部、天狗向河原の一部
大字十日市	烏沢向、姥岩の一部、下樋田、花水河原の一部、黒坂の一部、黒坂前の一部、上樋田の一部、西の一部、赤御堂の一部、茶立場の一部
大字松館	岡田前的一部分、細越の一部、細越前的一部分、山下の一部、辰ヶ口の一部、籠田の一部、籠田前的一部分
大字是川	稲荷下河原の一部、下神田の一部、館ノ内的一部分、権現堂向的一部分、十役下タの一部、春日河原の一部、助五郎下タの一部、小川代的一部分、上神田的一部分、赤沼の一部、川端の一部、中居河原の一部、長才河原の一部、天狗河原の一部、田中河原の一部、檜館の一部、堀田の一部、明土の一部、猶森の一部
大字大久保	サクロツの一部、夏川戸の一部、坂ノ上的一部分、坂ノ脇的一部分、袖ノ沢的一部分、沢目的一部分
大字妙	古戸の一部、丹内下的一部分

(3) L2 津波における町字別の津波浸水開始予想時間 ※今回の改定において新たに設定
津波からの避難を検討するにあたっては、自宅や職場等から津波浸水想定区域の外や高台等の安全な場所までの距離や所要時間を事前に把握しておくことが重要である。

これら一人ひとりの具体的な避難行動の参考にしてもらうべく、市独自調査として、町字単位で津波の浸水が始まる予想時間を計画中に示した。

(県の津波浸水想定では沿岸の代表地点における津波到達時間は示されているものの、陸域での到達時間は示されていないため、市独自調査により設定したもの)

<各町字別の津波浸水開始予想時間(抜粋)>

町名・大字 小字	津波浸水 開始予想 時間[分]	町名・大字 小字	津波浸水 開始予想 時間[分]	町名・大字 小字	津波浸水 開始予想 時間[分]
大字市川町字赤川	42	大字市川町字赤川下	38	大字市川町字赤坂下	188
大字市川町字赤畑	40	大字市川町字市川	33	大字市川町字市川後	35
大字市川町字稲荷下	185	大字市川町字稲荷岱	43	大字市川町字姥懐	38
大字市川町字大沢下	45	大字市川町字壁取下	36	大字市川町字上大川端	35
大字市川町字上大谷地	35	大字市川町字上川原	125	大字市川町字上中平沖	37
大字市川町字上水目沢	179	大字市川町字北雷平	39	大字市川町字北谷地	37
大字市川町字クゴ谷地	42	大字市川町字小鍋下	182	大字市川町字坂ノ下	38
大字市川町字鯨ノ口	185	大字市川町字下揚	28	大字市川町字下大川端	32

(4) 避難場所の見直し

① 大津波警報時に初動で開設する指定避難所の見直し

これまで大津波警報時に初動で開設する指定避難所としていた白銀小学校や鯨公民館等は津波浸水想定区域に含まれたため、津波浸水想定区域外の指定避難所に変更するなどの見直しを行った。

ア 見直し前【30 か所】

No	指定避難所	No	指定避難所	No	指定避難所
1	吹上小学校	11	西園小学校	21	八戸市公民館
2	湊小学校	12	桔梗野小学校	22	白銀公民館
3	青潮小学校	13	多賀台小学校	23	鯨公民館
4	白銀小学校	14	第一中学校	24	上長公民館
5	白鷗小学校	15	湊中学校	25	柏崎公民館
6	鯨小学校	16	鯨中学校	26	大館公民館
7	種差小学校	17	北稜中学校	27	湊公民館
8	金浜小学校	18	大館中学校	28	八戸シーガルビューホテル
9	高館小学校	19	県立八戸工科学院	29	南部山健康運動センター体育館
10	日計ヶ丘小学校	20	県立八戸東高等学校	30	種差少年自然の家

※下線は見直した指定避難所

※白銀小学校、西園小学校、白銀公民館、鯨公民館、上長公民館、柏崎公民館は新たな浸水想定区域に含まれたため見直し

※青潮小学校は地域バランスを考慮して見直し

※八戸シーガルビューホテルは閉館に伴う見直し

イ 見直し後【33 か所】

No	指定避難所	No	指定避難所	No	指定避難所
1	吹上小学校	12	田面木小学校	23	県立八戸工科学院
2	湊小学校	13	中居林小学校	24	県立八戸東高等学校
3	白鷗小学校	14	多賀台小学校	25	八戸市公民館
4	鮫小学校	15	第一中学校	26	大館公民館
5	種差小学校	16	湊中学校	27	湊公民館
6	金浜小学校	17	鮫中学校	28	南部山健康運動センター体育館
7	高館小学校	18	北稜中学校	29	種差少年自然の家
8	日計ヶ丘小学校	19	大館中学校	30	農業経営振興センター
9	桔梗野小学校	20	白銀中学校	31	八戸市公会堂
10	三条小学校	21	白銀南中学校	32	八戸ポータルミュージアム (はっち)
11	根城小学校	22	三条中学校	33	中居林コミュニティセンター

※赤字は見直した指定避難所

② 津波避難ビル

これまで指定されていた津波避難ビルのうち、新たな想定において高さが足りなくなった建物は使用不可とするなど見直しを行った。

ア 見直し前【24 施設】

No	津波避難ビル	No	津波避難ビル	No	津波避難ビル
1	市川中学校	9	江陽小学校	17	水産会館
2	根岸小学校	10	江陽中学校	18	八戸港貿易センター
3	城北小学校	11	<u>小中野小学校</u>	19	横浜冷凍
4	<u>下長中学校</u>	12	<u>小中野中学校</u>	20	東北グレーンターミナル
5	下長小学校	13	<u>総合教育センター</u>	21	県立八戸中央高等学校
6	城下小学校	14	<u>柏崎小学校</u>	22	<u>県立八戸盲学校・聾学校</u>
7	第二中学校	15	第三中学校	23	八戸火力発電所
8	八戸小学校	16	東部終末処理場	24	小中野公民館

※下線は使用不可となった津波避難ビル

イ 見直し後【21 施設】

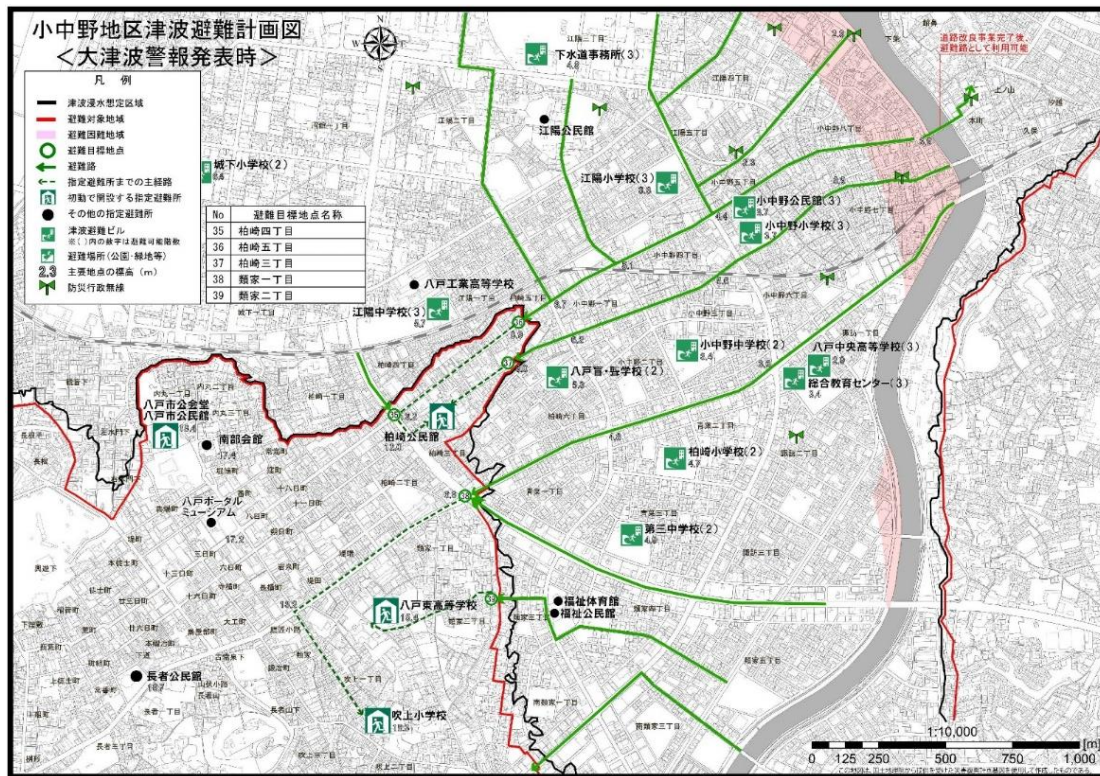
No	津波避難ビル	No	津波避難ビル	No	津波避難ビル
1	市川中学校	8	江陽小学校	15	東北グレーンターミナル
2	根岸小学校	9	江陽中学校	16	県立八戸中央高等学校
3	城北小学校	10	第三中学校	17	八戸火力発電所
4	下長小学校	11	東部終末処理場	18	小中野公民館
5	城下小学校	12	水産会館	19	多賀地区津波避難タワー
6	第二中学校	13	八戸港貿易センター	20	多賀多目的運動場
7	八戸小学校	14	横浜冷凍	21	八戸市津波防災センター

※赤字は前回の計画改定（H27.3）以降に整備された津波避難ビル

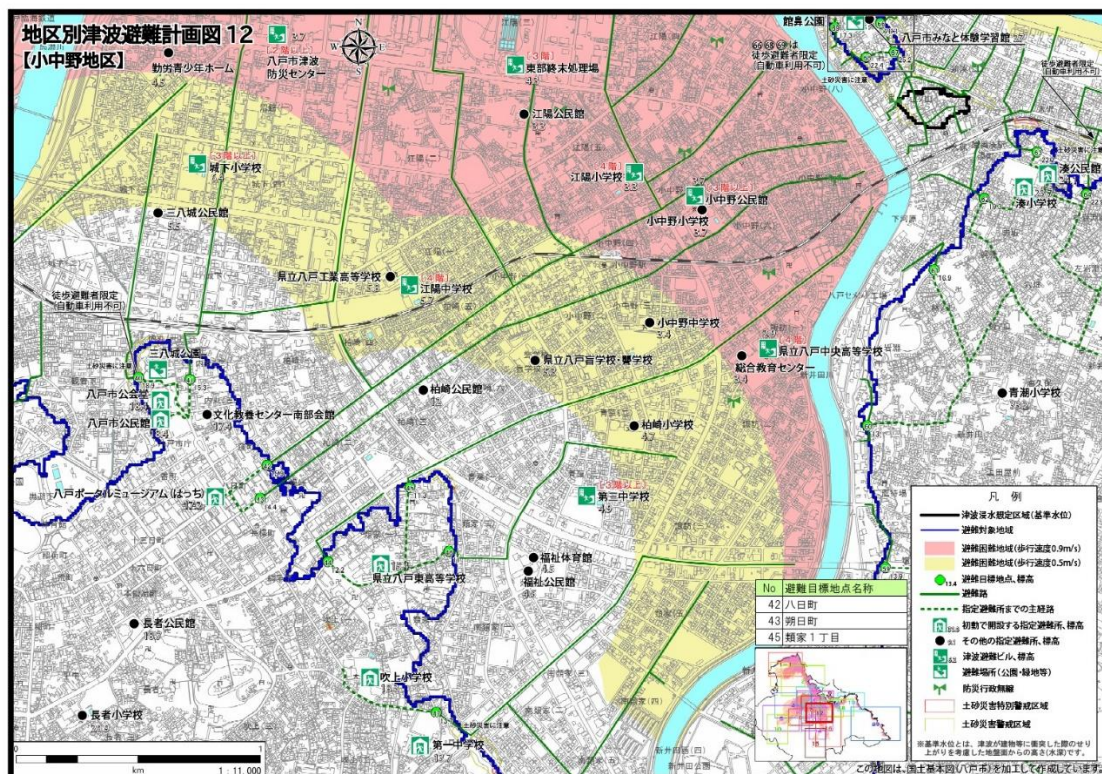
(5) 津波避難計画図の見直し

浸水域の拡大に伴い、避難目標地点や初動で開設する指定避難所、津波避難ビル、避難路等の見直しなどを反映した。なお、津波避難計画図は、計画改定後速やかに津波浸水想定区域内の世帯に印刷物を配布するほか、住民異動の際、市民課窓口で配布する。

【現行】小中野地区津波避難計画図（大津波警報発表時）



【改定後】小中野地区津波避難計画図（大津波警報発表時）



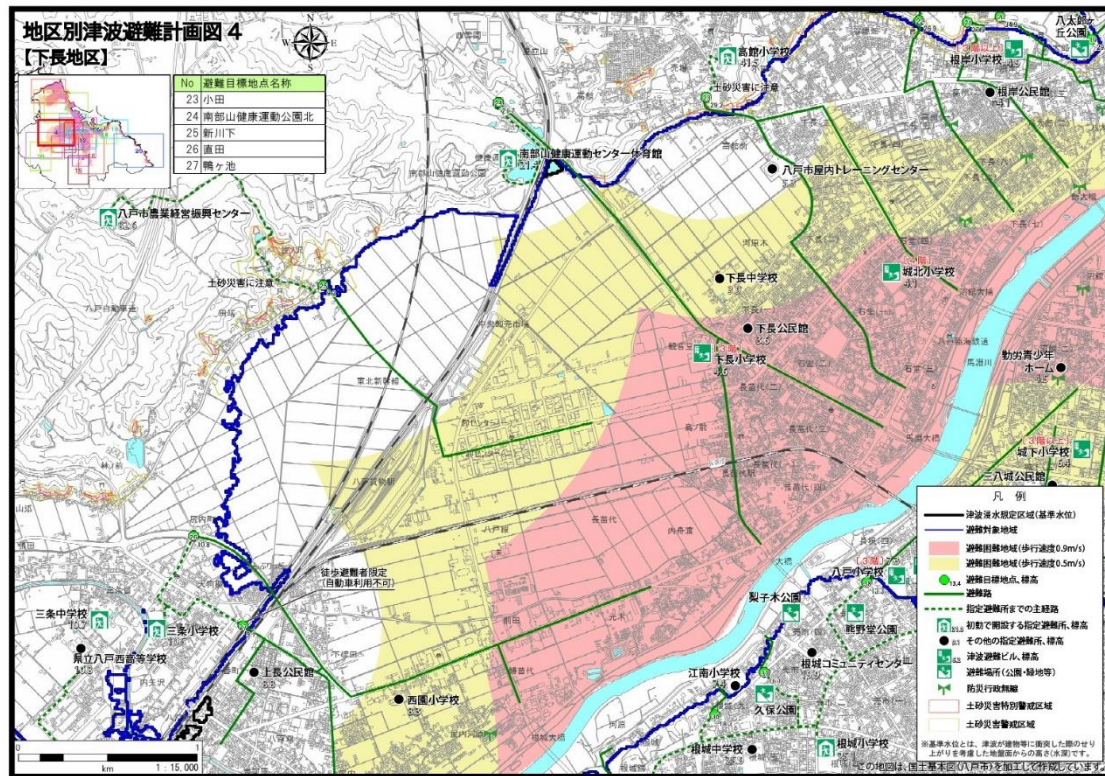
(6) 避難困難地域

津波避難施設を整備・検討するための基礎資料となる避難困難地域を抽出した。

浸水域の拡大と第一波到達時間が早くなったことで、避難困難地域が拡大している。

市は今後、避難困難地域を解消するため、津波避難ビルの指定や避難タワーの整備検討等、津波避難施設を確保するための対策を進めていく。

< 下長地区津波避難計画図（大津波警報発表時） >



※避難困難地域は、徒歩避難を原則として、津波到達予想時間までに避難対象地域外への避難が困難と考えられる地域をいう（図中ピンクと黄色で示されるエリア）。なお、津波避難ビルへの避難は考慮していない。

※図中ピンクのエリアと黄色のエリアの違いは次のとおり

	避難困難地域（歩行速度 0.9m/秒）	通常（ベビーカーを押す人の目安）
	避難困難地域（歩行速度 0.5m/秒）	歩行困難者

※基本的な歩行速度（0.9m/秒）は、市町村避難計画策定指針（青森県：令和3年7月）に記載されている歩行速度のうち最も遅い「ベビーカーを押す人」の歩行速度を設定している。

※人によって避難速度は様々であり、避難困難地域内であっても全ての居住者が避難出来ないというものではないことに留意。

(7) 今後の課題

津波浸水域の拡大や津波到達予想時間の短縮により、津波から逃れるための避難場所の確保や避難者が短時間で避難できるよう避難路等の整備が今後の課題となる。そのため、第3章「津波避難計画」中に、今後の課題を明記した。

7 今後の課題

(1) 避難路の整備

市は、避難者が津波からできるだけ短時間で円滑に避難ができるよう、国や県と連携を図りながら避難路の整備を進める。

(2) 津波避難ビルの指定、津波避難タワー等の整備検討

市は、避難困難地域の避難者や避難が遅れた避難者が緊急に避難するための場所を確保するため、民間施設の協力を得ながら津波避難ビルの指定等を推進するとともに、高台への避難に相当な時間を要する地域などにおいて津波避難ビルがない場合など、必要に応じて津波避難タワー等の整備等を検討し、避難困難地域の解消に努める。

(3) 指定避難所の拡充、広域避難の検討

被災した避難者が一定期間滞在する施設を確保するため、民間施設の協力を得ながら避難場所等の確保を進めていくとともに、市内で避難場所等を確保できない場合には広域避難についてあらかじめ検討する。

(4) 自動車による避難方法の検討

市は、歩行困難者が避難する場合や、想定される津波に対して徒歩で避難が可能な距離に適切な避難場所がない場合などにおいて、地域の実情に応じた自動車での避難方法を検討する。

<自動車避難を検討する際の主な留意事項>

- ・自動車避難が可能な地域、適さない地域の条件整理を行うなど、地域の実情に応じた避難方法をあらかじめ設定する必要がある。
- ・徒歩による避難者の避難行動を妨げることなく、自動車の円滑な通行が可能となる経路（幅員が確保された道路など）を選定する必要がある。
- ・訓練などを実施することにより、徒歩避難者と自動車が混在した場合にも、円滑かつ安全な避難が実現される体制づくりと避難ルールの周知・徹底を図る必要がある。



三沢－羽田線 4 便化について

令和4年12月16日(金) 都市整備部 都市政策課





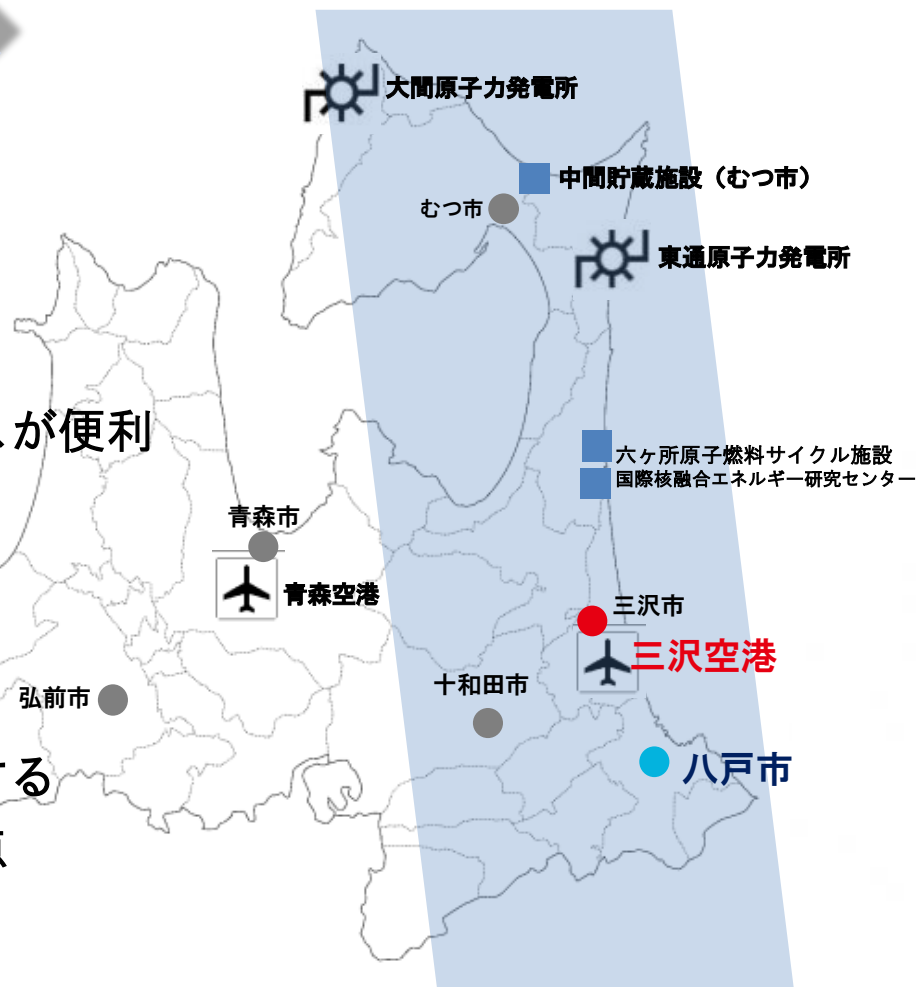
三沢空港の概要



〈三沢空港の位置〉

- ・ 八戸市中心部から約40分
- ・ 三沢市中心部から約5分
- ・ 北東北の主要観光地へアクセスが便利
 - ① 八戸・三陸・八幡平
 - ② 十和田湖・奥入瀬溪流
 - ③ 下北・恐山・薬研溪流
- ・ 原子燃料サイクル施設が立地する
むつ小川原開発地区の交通拠点

三沢空港利用想定圏





就航路線



【札幌丘珠線】HAC 1日1便(金・土・日の週3便)

運航会社HAC、機体ATR42-600(48席)

【東京羽田線】JAL 1日計4便

- ・うち2便：運航会社JAL、機体B737-800(165席)
- ・うち2便：運航会社J-AIR、機体E90(95席)

※1便は、羽田発着枠政策コンテスト(令和元年度)の結果により、
トライアル運航中(令和4年3月27日～の1年間)

【大阪伊丹線】JAL 1日1便

運航会社J-AIR、機体E90(95席)

※米軍、自衛隊との共用空港のため、
日米間の合意により、民間定期便
の運航は1日7便に限定される





羽田発着枠 政策コンテスト



地方公共団体等と航空会社の優れた取組の共同提案に対し、国土交通省から羽田空港の発着枠1日1便が配分される

【令和元年度実施コンテスト】

・令和2年10月から「5枠」を配分

→7空港がエントリー(三沢、山形、鳥取、石見、佐賀、大館能代、下地島)

→三沢空港は、JAL・青森県・三沢市の3者で共同提案



《政策コンテストの評価結果(令和2年5月14日)》

順位	提案者(空港名)	共同提案者(航空会社名)	総得点
1位	鳥取空港	全日本空輸	1225
2位	石見空港	全日本空輸	1192
3位	山形空港	日本航空	1163
4位	大館能代空港	全日本空輸	1033
5位	三沢空港	日本航空	997
6位	下地島空港	スカイマーク	994
7位	佐賀空港	全日本空輸	918

政策コンテストの配分方針

- ・上位4位までの鳥取、石見、山形、大館能代の各路線への配分が決定。2020.10.25～
- ・5位三沢、6位下地島は総得点が僅差のため、両者にて1年間のトライアル運航を実施。有識者により再評価。(2020.10.25～暫定運行)



トライアル運航期間の延期



当初、トライアル運航期間は、令和3年3月下旬(2021夏ダイヤ)～令和4年3月下旬(2021冬ダイヤ)までの1年間であったが、コロナ禍の影響を考慮して延期された

■当初予定



■見直し後



見直し後 → トライアル期間は令和4年3月下旬(2022夏ダイヤ)から
令和5年3月下旬(2022冬ダイヤ)までの1年間

→ 現在、トライアル運航中(令和4年3月27日～)



勝者は・・・、
令和6年度中
の運航が可能



4便化によるメリット



【3便時】（～2020.10.24）

便名	羽田発	三沢着	機体
JL155	8:20	9:35	738
—	—	—	—
JL157	13:55	15:15	E90
JL159	16:55	18:10	738
便名	三沢発	羽田着	機体
JL154	10:20	11:45	738
—	—	—	—
JL156	15:00	16:20	E90
JL158	19:05	20:30	738

【4便化後】（2022.12.16 現在）

便名	羽田発	三沢着	機体
JL153	7:40	9:00	738
JL155	10:30	11:55	E90
JL157	14:50	16:15	E90
JL159	17:15	18:35	738
便名	三沢発	羽田着	機体
JL152	9:40	11:05	738
JL154	12:25	13:50	E90
JL156	15:30	16:55	E90
JL158	19:30	20:55	738

トリニキテ。三沢空港
MISAWA AIRPORT

便数の増加とダイヤの改善で利便性が大きく向上

①利用機会の向上

三沢に昼前に到着する便の新設により、移動のバリエーションが増える
使いやすいダイヤ設定で、新規ユーザーの増加が期待できる

②滞在時間の延長

増便により、初便の早発、最終便が遅発されることで滞在時間が長くなる
ビジネスや観光の拡がりが期待できる

③乗継先の増加

乗継可能な便が増え、訪問先が増加する（特に九州・中四国・北陸）

④利便性の向上

羽田空港での乗継等の待機時間が短縮され、利便性、快適性が向上する

効果

A 西日本からの
観光客の大幅増加

B ビジネス客などの
利便性向上

C 三沢空港路線の
認知度向上

D 地域の活性化



利用促進団体



三沢空港を活用した地域振興を効果的に進めるため行政と民間の支援体制を確立
下記団体をはじめ、関係者が三沢-羽田線4便化に向けて各種取組を実施している

● 三沢空港振興会

【設立】平成14年5月27日

再評価・決選投票に向けた
取組を実施中!!!!



【構成】三沢市（会長 三沢市長）、八戸市（副会長 八戸市副市長）、
青森県、十和田市、むつ市、平内町、野辺地町、七戸町、おいらせ町、
六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、東通村、三沢空港ターミナル(株)、
日本航空(株)青森支店

【目的】三沢空港を活用した地域振興をより効果的に進めるために、
三沢空港の周辺市町村及び関係団体が連携し、機能拡充に関する
運動の展開や利用促進対策の実施などを図ることを目的とする。

● 三沢空港利用促進期成会（平成10年発足）

三沢市商工会を中心とする商工関係57団体で組織している。

（会長：三沢市商工会長、副会長：八戸市商工会議所会頭）

※ 当該期成会では、弾丸ツアー「JAL工場見学」などを企画・実施している

トリニキテ。三沢空港
MISAWA AIRPORT



4 便化継続に向けた取組例①



1. プロモーション強化

○三沢空港ロゴデザインの制作・活用

三沢空港のブランド向上を目指すためロゴデザインを制作
プロモーション活動のシンボルとして展開



◇ 日本で唯一の素晴らしい景色を「撮る・録る」 ◇

◇ ここにしかない名産品を「採る・獲る」 ◇

◇ 青森ならではの味わいを「摂る」 ◇

青森県のシルエットを指の形状に見立て、三沢空港を通して体験できる魅力(輝き)を、指先で「トッテイル」様子として表現したシンボルマークです

○JAL羽田オフィスでの青森フェスタ
(5月24日～26日)

○九州より視察団向けファムツアー
(6月20日～22日)

○台北国際空港ラベルツアーでのPR
(11月4日～7日)

○PR物産展IN羽田空港
(11月15日)

★種差海岸を含む空港周辺のファム
ツアー(12月13日～15日)

★八戸市を中心とした酒蔵・ワイナリー
を巡るファムツアー(企画中)

○三沢空港フォトコンテスト
(企画中)

FAM(Familiarization)ツアーとは？

観光地の誘致促進・旅行商品造成のため、
ターゲットとする国・地域の旅行事業者や
インフルエンサー、メディア等に現地視察を
してもらうためのツアー



4便化継続に向けた取組例②



2. 訪日外国人の誘致

○三沢空港ホームページ多言語化、英語ポスター作成

- ・三沢空港ウェブサイト多言語対応
サービス開始: 令和4年3月～
追加言語: 英語／韓国語／中国語(繁体字)／中国語(簡体字)
- ・三沢・羽田線4便化PRポスター英語版製作

外国人が集まる東北の人気スポット上位10位

順位	スポット	滞在者数
1	【宮城県】仙台市内(広瀬通周辺)	83191人
2	【青森県】青森市内(アスパム周辺)	59795人
3	【青森県】星野リゾート青森屋周辺	50766人
4	【岩手県】安比高原スキー場	34157人
5	【青森県】十和田湖	33071人
6	【岩手県】花巻温泉	30544人
7	【青森県】奥入瀬渓流	30442人
8	【青森県】三沢市内(三沢基地周辺)	29905人
9	【山形県】蔵王スカイケーブル	25353人
10	【青森県】弘前城	22677人

※リーサスを基に東北経済産業局が作成。2017年8月～18年7月、滞在者数は1ヵメッシュ内の人数。駅・空港は除く

東北上位10に青森県が6つ、三沢空港周辺が4つ選ばれている



コロナ禍の影響が和らぎ始めた2022年秋以降が本番
台北インターナショナルトラベルツアーでのPR(再掲)等も開始



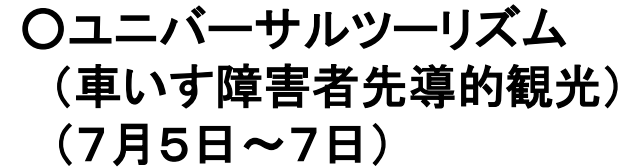


(三沢空港初となる遊覧チャーターを実施)

三沢空港発着J-AIR遊覧チャーター便事業

日時:令和4年8月17日(水)

- ・三沢空港発着の遊覧チャーター便を約70名の一般募集型の旅行企画として実施
- ・北海道や東北を周遊する特別航路で約120分のフライト（機内にて航空教室やアナウンス体験実施）



車いすインフルエンサー: 中嶋涼子



○2地域居住及びUIJターン希望者向け
居住地の下見 兼 観光パック





4便化継続に向けた取組例⑤



5. ビジネス利用の促進

【三沢市】

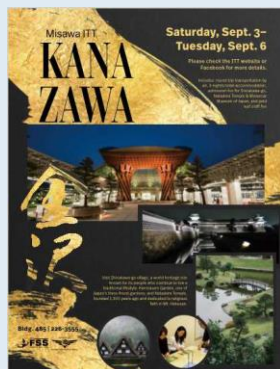
○日本原燃㈱に対する利用の働きかけ

- ・三沢市やJAL等が同社(六ヶ所村)を訪問し、出張時の航空利用を依頼

○米軍三沢基地に対する利用の働きかけ

- ・「三沢市と三沢基地との連絡協議会」により米軍三沢基地司令官に対し、国内線及び国際線への乗継の利便性のために4便継続の必要性を共有し、三沢-羽田線の積極的な利用について協力を依頼

- ・米軍三沢基地関係者向け国内ツアー商品(石川県とタイアップ)を造成・実施



○職員互助会による航空機代助成

- ・職員が旅行等で、三沢空港を起点に往復した場合の航空機代助成額を今年度に限り、三沢-羽田線に限定して増額(10,000円→15,000円)

【八戸市】

★八戸セミナー2022(東京・名古屋)にて三沢-羽田線4便(アクセス性)についてPR

八戸市へのアクセス

■北東北における陸・海・空の交通結節点

新幹線	東京まで約2時間41分 名古屋まで約4時間18分
陸	東京から約650km 名古屋から約1,000km
高速道路	八戸⇄苫小牧間(4便/日)
海	三沢空港 東京から1時15分(4便/日) 大坂から1時30分 札幌(丘珠)から60分
空	三沢空港 名古屋(小牧)から1時間20分(3便/日) 花巻空港 名古屋(小牧)から1時間10分(4便/日)



★八戸IT・テレマーケティング未来創造協議会の会議にて利用の働きかけ

★八戸インテリジェントプラザの企業に対するチラシのポスティングにて利用の働きかけ

★職員等の旅費及び費用弁償の支給に関する条例の運用方針の改正

- ・職員の出張に係る旅費(航空機)の支給について、従前の「長崎以西」から「大阪以西」に改正(10月1日～)



4便化継続に向けた取組例⑥



6. 他の取組

○羽田乗継商品の造成・積極展開 (特に西日本)

- ・令和4年度上半期は、令和元年比 約200%
- ・羽田乗継便ツアーIN沖縄(2月予定) など

★北海道・北東北での周遊観光 の推進(縄文遺跡群等)

○青い森鉄道(株)との連携 (ラッピングトレイン等)



★八戸駅・本八戸駅設置の ツールラックを活用した 利用促進



★八戸公共交通ポータルサイトを活用した利用促進

4便化を目的とした利用促進のために令和3年度、三沢空港振興会にて制作したロゴをサムネイルとした、同目的のための「動画」を公開

トライアル運航開始のチラシへのリンク

八戸公共交通ポータルサイト

国土交通省
東北運輸局
青森運輸支局
青森県 交通政策課
八戸市 公共交通

八戸公共交通ポータルサイト

Airplane
航空

空港(発着): 三沢~東京・大阪・札幌

三沢~東京便4便化トライアル運航(※) 11月2022年3月27日~1年間

トリニキテ。三沢空港
MISAWA AIRPORT

日本で唯一のすばらしい景色を"見る・知る"
ここにしかない商品品を"知る・知る"
貴客ならはの味は"知る"

空港へのアクセス

- ・八戸市~三沢空港連絡バス
- ・空港定額タクシー

事業者ホームページ

- ・JAL(ANA AIRLINES JAL) (成田発着)
- 航空予約予約等はこちら
- ・(株)北東北エクスプレス(株) (成田発着)
- ・(株)北東北エクスプレス(株) (成田発着)
- ・(株)北東北エクスプレス(株) (成田発着)
- ・タクシー 事業者

八戸公共交通ポータルサイト

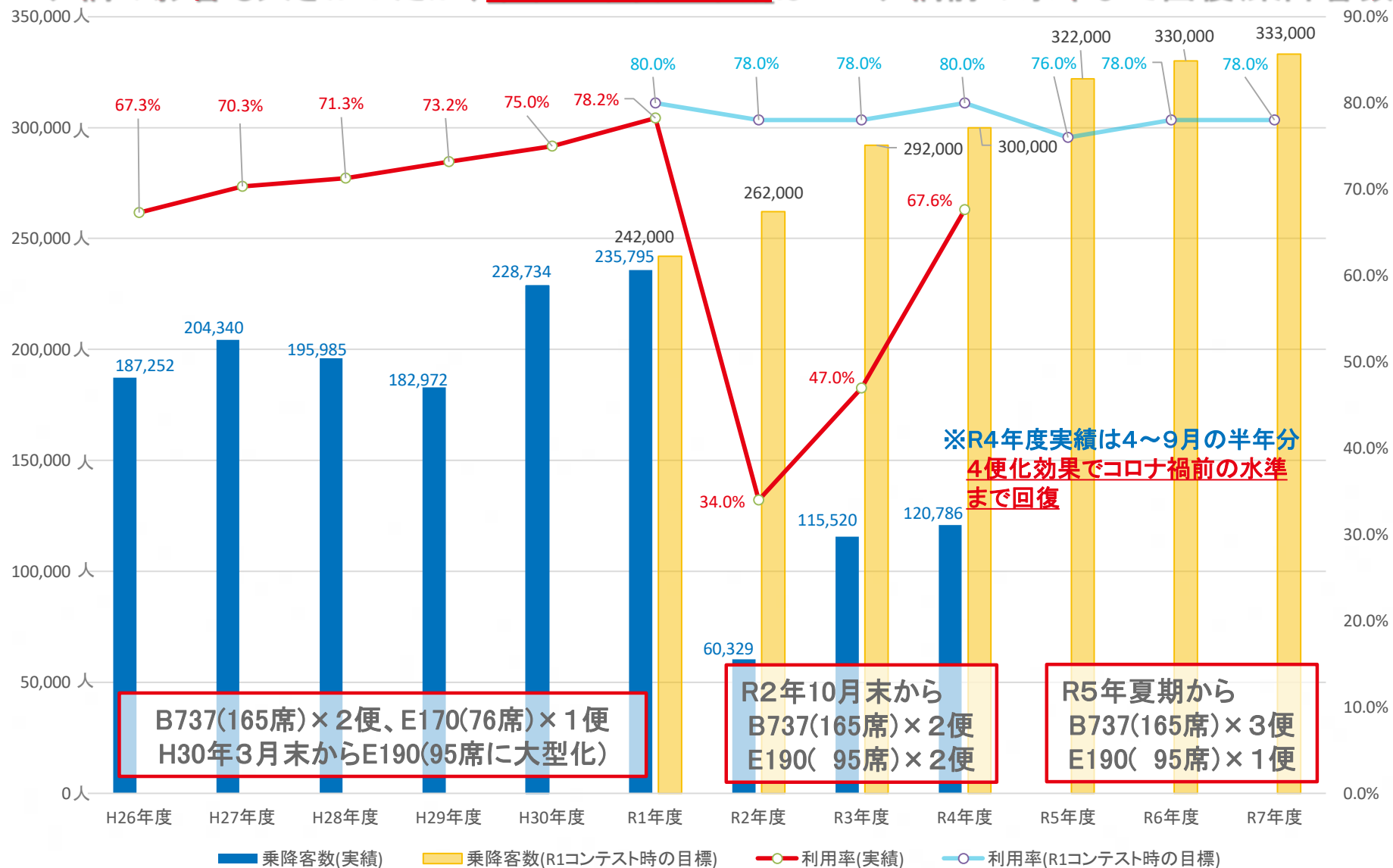
QRコード



三沢-羽田線の利用状況(H26～R7)



コロナ禍の影響も大きかったが、令和4年度上半期はコロナ禍前の水準まで回復(乗降客数)



○羽田発着枠制作コンテストの再評価等に関する懇談会

開催日：令和4年12月3日（金）

主 催：国土交通省 航空局 航空事業課

委 員：外部有識者5名

内 容：コロナ禍により航空需要が落ち込む中、羽田発着便1枠を競い合っている三沢空港・下地島空港の、地域における取組の評価方法に関する考え方について、有識者の知見を活用するために懇談会を開催。

再評価方法が、地域に示されるか現時点では不透明
(これまでも明確な評価方法・基準は地域に示されていない)

**地域振興のため関係者が一丸となり
三沢-羽田線4便化の継続に向けて
トライアル運航終了までの残り3ヶ月
最大限の取組を実施する必要がある**

トリニキテ。
三沢空港
MISAWA AIRPORT





トリニキテ。三沢空港
**MISAWA
AIRPORT**

協力: 三沢空港振興会事務局(三沢市 政策部 政策調整課)